

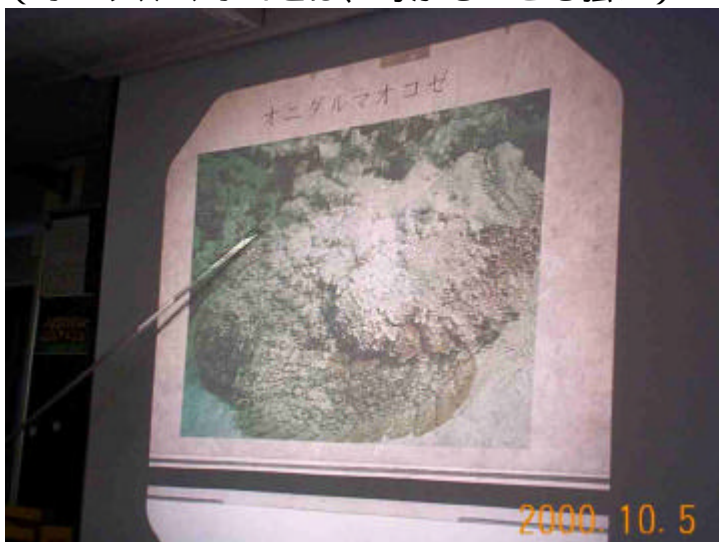
海洋科学技術センター研修報告書

平成12年10月5日(木) 4 日目

時間	訓練項目	訓練内容	使用資器材	備考
1 時限 08:00 ~ 08:50				
2 時限 09:00 ~ 09:50	海洋性有害生物	有害生物の定義 有害生物の注意点 有害生物の被害	研修テキスト P111 ~ P115	配布資料有 り (海洋生物 による被害)
3 時限 10:00 ~ 10:50	同上			
4 時限 11:00 ~ 11:50	潜水法	用語の定義 法的事項 潜水に関する免許 開始前の点検	研修テキスト P84 ~ P9 4	
5 時限 13:00 ~ 13:50	スノーケリング	水面泳法 装備品脱装着 素潜りインターバル ネックレス	3点セット	周回と 3mプール 使用
6 時限 14:00 ~ 14:50	同上			
7 時限 15:00 ~ 15:50	スクーバ潜水	水中泳法 マスク,フィン無し ウエイト無し	BC使用	3mプール 使用
8 時限 16:00 ~ 16:50	スクーバ潜水	水中脱装着	同上	3mプール 使用
9 時限 17:00 ~ 17:50	スクーバ潜水	エアーステーション 水平潜水	ハーネス使用 4.2m潜水	3mプール 使用 到着者は翌 日から無し



- 海洋性有害生物 研修テキスト P 1 1 1 ~ P 1 4 2
- 生物が毒を持つ目的は、エサをとる、身を守る、子孫を残す。
- 有害生物から自分の身を守るためには、生物の生態等の知識をつける。
- 生物のなにを知るのか、名前を知る、生息分布を知る、習性を知る、環境を知る
- 生息期間を知る、体のどこに毒があるかを調べる。
- 頭の形が立方体のクラゲは、同が強い。
- オコゼと名の付く魚は、ほとんど毒がある。
(オニダルマオコゼは、毒がもっとも強い)



- 魚等の毒は、タンパク毒であり、お湯で分解できる。
- ホオジロサメは、水温 7 度以上あれば、いてもおかしくない。
(サメは、すぐ攻撃してくるのではなく、何周かしてから、鼻で確かめて噛み付く)
- ウミヘビには、は虫類のヘビと魚類のウミヘビがいる。

ハブクラゲ



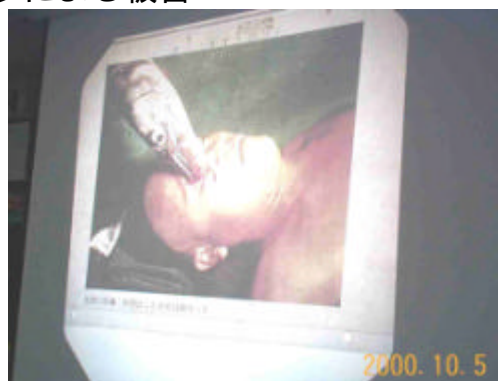
アンドンクラゲ



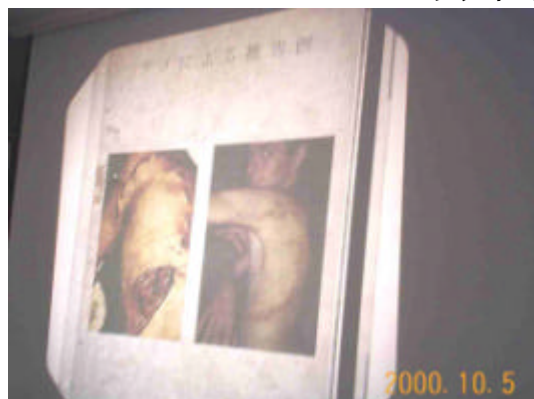
クラゲに刺された状況



ダツによる被害



サメによる被害



3 時限 (座学) 長根 指導員

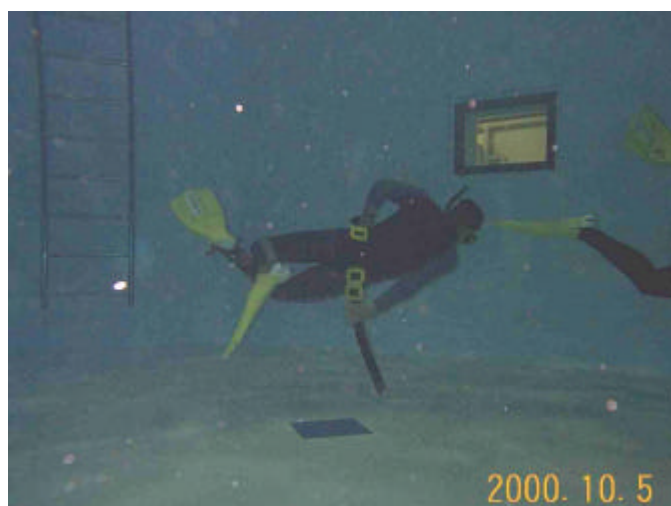
- ・ 潜水法 研修テキスト P 8 4 ~ P 9 4 を参照
- ・ 用語の定義
- ・ 潜水法に関する法的事項
- ・ 潜水業務に関する免許・資格
- ・ センターの潜水安全基準の , スクーバ潜水は 4 0 m 研修テキスト P 9 0
- ・ 潜水開始前の点検
- ・ 潜水時の国際 A 旗について。
- ・ 交信について。

5 時限 ~ 9 時限 (プール実習)

- ・ スノーケリング
水面泳法 (P 5) プールを前半 5 週、後半 5 週
ドルフィン泳法 (P 1 1) 枠くぐり有りプールを 3 週 + マスク外して 2 週



素潜り (P 1 0) 1 0 本 マスクリカバリー (P 1 2) 3 回
ウエイトリカバリー (P 1 3) 3 回

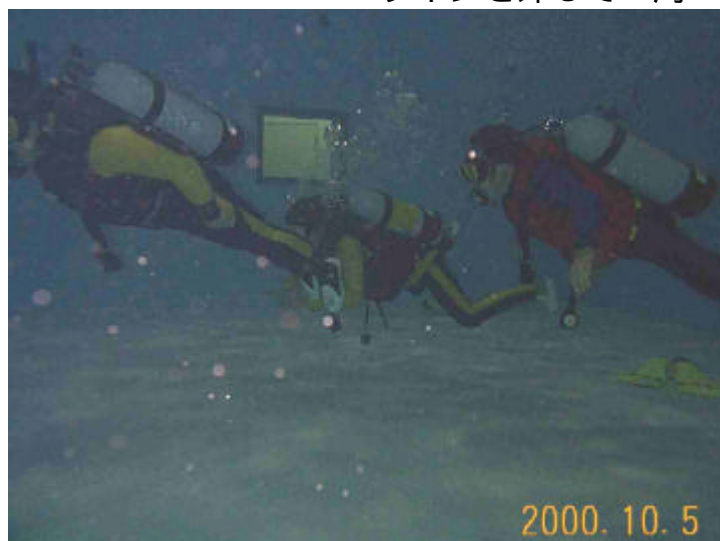


ネックレス、半周、フィン無し



・ スクーバ潜水 ~

水中泳法 (P 1 6) 2周 + マスク外して2周
フィンを外して2周



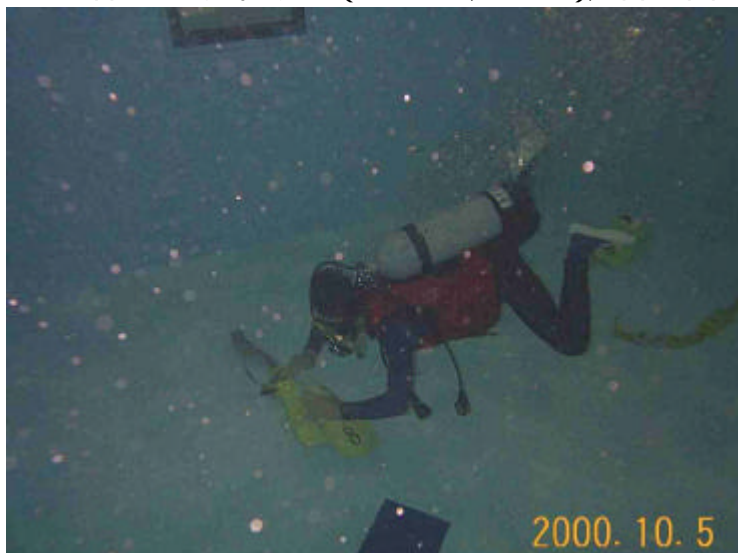
ボンベバルブ開閉 (P 2 4) 4回



リザーブバルブ開閉 (P 2 4) 4回

ウエイトリカバリー (P 2 3) 4回

異なる条件での水中泳法 (P 2 1、 2 2) 各 4 回



水中脱装着 (P 3 3、 3 4) ボンベ 1 回
ボンベ+ウエイト 1 回
ボンベ+マスク 1 回



エアーステーション (P 3 5 ~ 3 7)、 2 0 分

水平潜水 往復 訓練終了